

(参考資料1)

福井県は、県内製造業（機械、電気、電子、繊維、眼鏡等）や非製造業（サービス業、医療、介護、福祉分野等）へのロボット導入促進や生産効率化を図るため、企業がロボットを気軽に体験し相談できるにロボット開発施設「ふくいロボットテクニカルセンター」（2018年3月、愛称：ふくいロボット道場）を工業技術センターに整備しました。

さらに、2019年に「ふくい産業ロボット研究会」を設立して、産業用ロボットに関する情報共有を図りながら、ロボットの導入促進・利用拡大と県内企業の生産性向上に向けた支援を行ってきました。

ふくいロボットテクニカルセンターでは、多軸アーム型ロボット、協働ロボット、双腕ロボット、軽作業用パワーアシストスーツ等の様々なロボットを整備し、ロボット導入前のシミュレーション、計測・加工等の技術相談、AIを組み込んだロボットの技術開発や改良までを一貫して支援しています。

#### これまでの活動実績

令和元年度：ロボットの活用や導入に関するセミナー2回開催

令和2年度：講演会1回開催

会員企業見学会（導入事例紹介）2回開催

令和3年度：産総研と連携したショートセミナー2回開催

研究会の会員が主催する安全講習会2回開催

会員企業見学会開催予定

一方、中小機構北陸本部は、2021年10月21日に「生産性を高めるロボット・IoT活用を推進する支援パッケージ」を策定し、北陸地域のロボット・IoT活用を目指す中小企業の支援を強化しています。

福井県では、県内企業のロボット導入支援を効率的に実施していくために、中小機構と連携します。中小機構にこれまでの導入成果例や福井県内のロボット導入に取り組みたい企業を紹介し、中小機構が実施するプロジェクトを活用してもらうとともに、国や県等の支援制度を活用できるよう事前診断・ビジネスマッチングを行った企業への技術相談や指導等のアフターフォローを行います。